

環境やまがた大賞受賞

社会づくりに自主的・主体的に取り組む活動の促進と県民意識の醸成を図ることを目的として、地球環境や地域環境に関する活動において功績のあった

条例」を制定し、その目標実現に向けて、環境への負荷の少ない持続的な発展が可能な



山形県では、持続的な発展が可能な豊かで美しい山形県の構築を目指し、県民・事業者及び行政が相互に協力しあい、環境の保全及び創造に関する取組みを進めるため、平成11年に「山形県環境基本

個人又は団体（グループ、NPO、学校など）を顕彰する「環境やまがた大賞」事業を、同年から実施してきました。第25回目となる令和6年度は個人では「山口勝美」様（上山市）、団体では「歴史の道土木遺産萬世大路保存会」（米沢市）に決定し、表彰式は、令和6年10月19日（土）に「やまがた環境展2024」で行われ、山形県環境エネルギー部 高橋環境エネルギー部部長から賞状が授与されました。

平成3年設立された万歳の松保存会は歴史の道土木遺産萬世大路保存会へと名称変更しながら、万世地区全戸加入で現在まで続いていることや、平成21年から万世小学校の校外活動で萬世大路に関する歴史と自然の大切さを伝えてきたこと、また木工専攻科1年生によるホームページ更新作業、さらに地域の環境に関する普及啓発や県内外の



方々に対して栗子山の自然の豊かさや萬世大路の歴史を散策ガイドを通じて紹介するなど、継続して活動が続けられました。

永く続いた活動を更に多くの方に伝えようと、7月に保存会名で早速応募しました。その後、応募内容の確認やヒアリングを行うために万世コミセンに伺いたいと県庁環境企画課の伊藤主事と置賜総合支庁環境課佐藤主事が8月1日に万世コミセンに来館され、ヒアリングを受けました。ここでは保存会と地域の関わりや、設立から現在までの経過、萬世大路を契機として万世に移住した人があるか、萬世大路の魅力はどのようなものがあるか、来訪客の評価はどうか、栗子山の自然の豊かさについてなど、多様な視点からの質問を受けました。

保存会からは質問にお答えした後、令和2年2月に『未来に伝える やまがたの宝』に登録されてから、国史跡の指定を目指して多様な資料の収集整理を進めていることをお伝えしまし

た。その後、10月1日に県庁環境企画課から電話で授賞決定の報告があり、10月19日の「環境やまがた展」で表彰式を行うので臨席して欲しいとのこと。19日は梅津会長が晴れの受賞式に臨み、同賞個人の部受賞者の蔵王の山口氏とともに高橋環境エネルギー部長から賞状を受けました。山形県の第25回「環境やまがた大賞」は実に重く感じられました。

令和6年度 やまがたの森づくり発表会

山形県では、「やまがた緑環境税」を活用した「みどり豊かな森林環境づくり推進事業」や「やまがた絆の森づくり」活動を行っています。この森づくり活動を行っている団体・企業等の方々に基調講演を通して普段の活動とSDGsのつながりや森林が提供する恩恵について再認識していただくことで森づくり活動への理解を深めるものです。ポスターセッションにおいて自身の活動を発表することで新たに活動を検討している方々とすでに活動されている方々の間で知識や経験、課題等の共有や意見交換を行い、それぞれ活動の充実を図り、県民参加の森づくり活動を推進しています。

この度の森づくり発表会が昨年12月9日（月）に山形国際交流プラザ山形ビックウイングで開催され当萬世大路保存会からも6名が参加しました。

萬世の大路

第37号
令和7年3月1日発行

発行者
歴史の道 土木遺産萬世大路保存会
会長 梅津 幸保

事務局
万世コミュニティセンター
☎0238-28-5381

題字は村山道雄元山形県知事